

## 第2回熊本地震シンポジウム2018 プログラム

4/22(Sun)

2F 講堂	
10:00～10:05	<p><b>開会の挨拶</b></p> <p>国立循環器病研究センター代表理事 小川 久雄 九州看護福祉大学看護福祉学部教授 熊本大学客員教授 (KEEP 代表) 掃本 誠治</p>
10:05～12:05	<p><b>シンポジウム1 熊本地震から2年 支援と受援を再考する</b></p> <p>座長:国立循環器病研究センター 安田 聡 / 掃本 誠治</p> <p>1.災害時 National Center としての役割～発災から2年～ 国立循環器病研究センター 大郷 剛</p> <p>2.マスメディアからみた災害時の支援と受援 朝日新聞社 竹野内 崇宏</p> <p>3.仮設住宅地区での支援と受援 キャンパス熊本 山本 智恵子</p> <p>4.他県からの支援と受援 福井大学地域医療推進講座 講師 山村 修</p> <p>5.ADRO 活動～2年経過して～ 阿蘇保健所所長 服部 希世子</p> <p>6.保健活動からみた支援と受援 熊本市健康づくり推進課 谷 昭子</p> <p>7.医療スタッフからみた支援と受援 日本臨床衛生検査技師会 丸田 秀夫</p> <p>8.災害医療コーディネータからみた支援と受援 熊本大学消化器外科学(元宮崎県災害医療コーディネータ) 長井 洋平</p>
2F 研修室1	
12:15～12:55	<p><b>ランチョンセミナー (共催:バイエル薬品株式会社)</b></p> <p>座長:熊本市市民病院首席診療部長・神経内科部長 橋本 洋一郎 『熊本地震と循環器疾患、そして抗血栓療法的重要性』</p> <p>演者:熊本大学循環器内科准教授 海北 幸一</p>
2F 講堂	
13:00	<p><b>ご挨拶</b></p> <p>熊本大学大学院生命科学研究部神経内科学 教授 安東 由喜雄</p>
13:00～14:40	<p><b>シンポジウム2 熊本地震を踏まえた提言</b></p> <p>座長:日本臨床衛生検査技師会代表理事・副会長 長沢 光章 熊本市市民病院 首席診療部長・神経内科部長 橋本 洋一郎</p> <p>1. 基調講演 災害に強い病院とは 摂南大学 理工学部 建築学科 教授 池内 淳子</p> <p>2. 企業の産業医としてどう動いたか、一支援・受援を含めて一 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)</p>

	<p>熊本テクノロジーセンター 熊本総務部 産業医 阿南 伴美</p> <p>3. くまもと復興応援ナースに関する報告 熊本県看護協会ナースセンター 就業支援アドバイザー 鏡 育代</p> <p>4. 災害時の大学病院の果たす役割 ―受援を中心に― 九州看護福祉大学看護福祉学部 教授 掃本 誠治</p> <p>5. 災害時の拠点病院の果たす役割 ―受援を中心に― 熊本市市民病院神経内科 橋本 洋一郎</p>
14:50～16:55	<p><b>シンポジウム3 災害急性期 DVT 受援について～KEEP(熊本地震)の経験から次に伝えたいこと～</b> 座長:熊本赤十字病院 国際医療救援部整形外科 細川 浩</p> <p>熊本大学 循環器内科 坂本 憲治 熊本大学 神経内科 中島 誠</p> <p>1. イントロダクション</p> <p>2. 災害総論 大規模災害における保健医療活動に係る体制について</p> <p>2-1 支援における災害対応時の行政の枠組み 熊本県庁健康福祉部医療政策課</p> <p>2-2 DHEAT の制度化・実働にむけて 熊本県菊池保健所 所長 木脇 弘二</p> <p>2-3 災害拠点病院の活動(ADRO 活動)～避難所支援の視点から 阿蘇医療センター 甲斐 豊</p> <p>3. 急性期 DVT 避難所支援報告～KEEP 受援マニュアルをもとに～</p> <p>3-1 急性期 DVT 検診活動について 熊本市市民病院 佐藤 幸治</p> <p>3-2 急性期エコー検診に係る人と物について 日本赤十字社熊本健康管理センター(日本臨床衛生検査技師会)田中 信次</p> <p>3-3 急性期 DVT 検診 エコー技師の立場から 済生会熊本病院 検査技師 山本 多美</p> <p>3-4 急性期 DVT 検診と病院搬送肺塞栓患者からみえてくるもの 熊本大学 循環器内科 坂本 憲治</p> <p>3-5 急性期 DVT 保健医療活動について 熊本赤十字病院 看護部 森 美幸</p> <p>3-6 急性期避難所における保健医療活動～DVT 活動の経験から～ 熊本赤十字病院 国際医療救援部 整形外科 細川 浩</p>
16:55～17:00	<p><b>全体総括</b> 九州看護福祉大学看護福祉学部教授 熊本大学客員教授 (KEEP 代表) 掃本 誠治</p>
	<p><b>閉会の挨拶</b> 熊本市市民病院 首席診療部長・神経内科部長 橋本 洋一郎</p>

(敬称略)